

消費税の大増税やめよ！

消費税廃止各界連ニュースNo.238

〒171-8575 豊島区目白2-36-13 全商連会館内

2007年10月5日 TEL 03(3987)3230 FAX 03(3988)0820

このニュースは中央団体と県連絡会に送付しています。地域連絡会や単産に送って下さい。

福田内閣「構造改革」「消費税増税」路線継続を表明、時期・規模は言及できず

福田康夫首相は10月1日、所信表明をおこない、「構造改革」「消費税増税」路線の継続を表明しました。消費税については、「歳出改革・行政改革を実施した上で、それでも対応しきれない社会保障や少子化などに伴う負担増に対しては、安定的な財源を確保し、将来世代への負担の先送りを行わないようにしなければなりません。今後、早急に、国民的な合意を目指して、本格的な議論を進め、消費税を含む税体系の抜本的改革を実現させるべく取り組んでまいります」と、増税論議をすすめていく考えを示したものの、実現時期などを明示することはできませんでした。

閣僚、与党幹部からも消費税増税発言が相次いでいます。

額賀福志郎財務相は1日午後、福田康夫首相と自民党の谷垣禎一政調会長を相次いで訪問し、今秋からスタートする消費税を含めた税体系の抜本改革議論をにらみながら与党内および政府・与党間で協議会を設置して議論する方針を示しました。

町村信孝官房長官は2日、増大する社会保障費や財政再建に向けた安定財源の確保に関連して、「消費税率については現時点でいつどのぐらいとは言えないが、長い目で見たときに引き上げは避けて通れない課題だ」と述べました。

自民党の伊吹文明幹事長は3日の衆院代表質問で、09年度の基礎年金の国庫負担引き上げに必要な財源について「すべての人が負担する消費税で賄うのは穏当な方法ではないか」と述べました。基礎年金の財源について、自民党三役が国会で消費税率引き上げを示唆したのは初めてのことです。

福田政権追撃へ、「増税計画やめよ」

<9月の定例宣伝>

各地の各界連は9月24日を中心に宣伝・署名行動をおこない、福田新首相の増税路線を批判、増税答申・法案を出させないため世論を大きくしていくことを訴えました。

■中央各界連 21日、8団体19人が参加し新宿駅東口で定例宣伝。日本共産党の小池

晃政策委員長・参院議員は日本経団連が提言した消費税増税と法人税減税を批判し、「逆立ち」税制と税金の使い方を改めさせるために、自民・公明政治を変えようと訴えました。また、全商連の西村副会長、新日本婦人の会の上野中央委員、消費税なくす会の杵渕事務局長、農民連の石黒事務局次長、生協労連の桑田委員長が訴えました。東京・世田谷区の男性（55歳、会社員）は「日刊ゲンダイにトヨタが1兆円の利益上げて、税金低いままだっただけで載っていた。『勝ち組』は税金払うべき。それをせずに法人税減税を言う資格ない」、埼玉県・さいたま市の女性（40歳、母子家庭）は「派遣のダブルワーク。休みなし。ボーナスもなく手取り30万円。子どもは高3と高2。扶養手当も減額。これで消費税上がったらどうやって生活しろというの！どんだん格差が広がっていくのを感じます」、同・所沢市の男性（42歳、警備員）は「天下の悪税だ。上げて何に使っているのか。これじゃまるで政府と財界、金持ちの談合じゃないか。政治じゃない」などの声が寄せられました。

○残暑の中、ことし最高の132人分署名<岐阜・西濃>○

22日、養老町のマックスバリュー前で8人が残暑厳しい中、宣伝行動。「年寄り死ねってことやわ」「だれがやっても変わらん」とあきらめの声もあるなかでも、増税はやめてほしいの思いが伝わってきました。車いすで来て署名する人、両手に持って買い物袋を下ろして署名する人など、「頑張る」の励ましももらいました。高齢の女性は「増税は反対だけど国も財政が厳しいね」とちゅうちょしていましたが、「軍事費などの無駄遣いや大もうけしている大企業へ減税している『逆立ち』税制」について話すと、「本当やね、おかしいね」と署名。この日は、1時間で132人から署名が寄せられ、ことし最高でした。

■秋田市 秋田駅前ポポロロードで3団体7人が行動。買い物に来た女性が「福田さんは消費税だけでなく、老人の保険料も上げようとしている。これ以上増税されたら生活できない。まず無駄遣いをやめてほしい」と署名するなど、20人分が集まりました。

■群馬・前橋 福田首相の地元として、内閣発足の25日に8人で宣伝。消費税方針を変えない福田首相を批判し、世論を広げて消費税論議をさせない運動を呼びかけました。通りがかりの主婦の人も「政治を変えないとね」と署名してくれました。

■埼玉・戸田 25日、6人が行動。首相選出の日ということもありチラシの受け取りもよく、署名も34人から寄せられました。増税で庶民は本当に大変、声を上げて行動することで政治は動くことを確信して頑張ろうと参加者も元気になりました。

■東京・北区 25日、JR赤羽駅東口で17人がシール投票。子どもやお年寄り、ティッシュ配りの若者も気軽に応じてくれました。増税反対が48で賛成はゼロ。区民の増税反対の強い思いが伝わってきました。署名は1時間で99人分、チラシは140枚でした。

■静岡県 26日に静岡市呉服町イベント広場前で6団体14人が、県社保協との共同で宣伝行動。「政治家の無駄遣いや大企業減税をやめれば消費税は増税しなくてよい」と署名に多くの人が応じ、52人分が寄せられました。

■高知市 26日、神田サニーマート前で行動。「増税に賛成やき、署名しません」という人もいましたが、「何でお金のないもんから取ることばかり考えるろうか」「これ以上増税されたらたまらん、頑張る」の激励と26人分の署名が寄せられました。

このほか、北海道・札幌北部、山形県、静岡・沼津などからも報告が寄せられました。

※各地の各界連の行動を知らせるニュースを送ってください